



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 黒田電気株式会社

上場取引所 東

コード番号 7517

URL <http://www.kuroda-electric.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長

(氏名) 細川 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役常務管理統括

(氏名) 森 安伸 (TEL) 03 (5764) 5500

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	113,569	△36.8	4,331	△14.7	4,410	△10.6	2,009	△42.5
29年3月期第3四半期	179,794	△22.8	5,076	△22.6	4,935	△23.6	3,497	6.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,694百万円(—%) 29年3月期第3四半期 212百万円(△90.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	53.41	—
29年3月期第3四半期	92.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	119,944	77,526	62.3
29年3月期	117,525	77,908	64.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 74,668百万円 29年3月期 75,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	47.00	—	48.00	95.00
30年3月期	—	33.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	160,000	△30.3	5,700	△19.6	5,600	△19.5	3,600	△25.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) クロダ マニファクチャリング ベトナム CO., LTD.

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期3Q	39,446,162株	29年3月期	39,446,162株
30年3月期3Q	1,813,033株	29年3月期	1,811,271株
30年3月期3Q	37,634,541株	29年3月期3Q	37,635,001株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

平成29年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想の前提条件その他の関連事項については、添付資料 2 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

1. 平成30年3月期第3四半期の個別業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	69,571	△51.2	751	△54.7	1,198	△45.0	194	△88.3
29年3月期第3四半期	142,679	△7.9	1,658	△30.2	2,178	△26.5	1,659	△18.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
30年3月期第3四半期	円 銭 5.18	円 銭 —
29年3月期第3四半期	44.08	—

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	92,040	52,974	57.6	1,407.65
29年3月期	90,624	55,421	61.2	1,472.61

(参考) 自己資本	30年3月期第3四半期	52,974 百万円	29年3月期	55,421 百万円
-----------	-------------	------------	--------	------------

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	89,000	△48.0	730	△65.9	2,200	△41.0	1,700	△42.0	45.17

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、不透明な国際情勢にも関わらず国内における雇用・所得環境の改善が継続し緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

当社グループを取り巻くビジネス環境は、液晶関連ビジネスにおける取引先の事業方針変更の影響を受け大きく変化いたしました。当社グループは、このビジネス環境の変化に対応すべく、新たな経営方針として掲げた「営業利益率の改善による営業利益の増加」を目指し、既存事業モデルの改善、新規事業の創造に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,135億69百万円（前年同期比36.8%減）、営業利益は43億31百万円（前年同期比14.7%減）、経常利益は44億10百万円（前年同期比10.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億9百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

日本においては、製造・加工会社の受注が引き続き好調に推移したものの、商社における大型液晶関連ビジネスの事業環境の変化で大幅な受注減となり、前年同期実績を大幅に下回りました。この結果、売上高は708億30百万円（前年同期比49.7%減）、営業利益は28億6百万円（前年同期比15.0%減）となりました。

アジアにおいては、商社における自動車関連ビジネスを中心に引き続き受注が堅調に推移いたしました。製造・加工会社におけるハードディスクドライブ向け部品製造・販売において利益率が低下したこと等により、売上高は396億45百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は14億40百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

その他のセグメント（北米及び欧州）においては、売上高は30億94百万円（前年同期比13.1%減）、営業損失が6百万円（前年同期は営業利益35百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,199億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億19百万円の増加となりました。資産の部の内訳は、流動資産が940億33百万円（前連結会計年度末比6億52百万円増）、固定資産が259億11百万円（前連結会計年度末比17億66百万円増）であります。流動資産の主な増加要因は、受取手形及び売掛金19億6百万円の減少があったものの、現金及び預金9億13百万円、商品及び製品8億15百万円、その他流動資産6億73百万円の増加があったためであります。固定資産の主な増加要因は、投資有価証券11億96百万円の増加であります。

負債合計は、424億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億円の増加となりました。負債の部の内訳は、流動負債が394億59百万円（前連結会計年度末比27億52百万円増）、固定負債が29億59百万円（前連結会計年度末比48百万円増）であります。流動負債の主な増加要因は、電子記録債務19億32百万円、支払手形及び買掛金8億41百万円の増加であります。

純資産合計は、775億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億81百万円の減少となりました。純資産の部の主な減少要因は、その他有価証券評価差額金6億56百万円の増加があったものの、利益剰余金10億38百万円の減少があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成29年5月15日に発表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,055	29,969
受取手形及び売掛金	50,789	48,883
商品及び製品	8,585	9,401
仕掛品	1,316	1,519
原材料及び貯蔵品	942	898
その他	2,725	3,399
貸倒引当金	△35	△38
流動資産合計	93,380	94,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,775	4,436
土地	4,866	4,867
その他（純額）	5,577	5,822
有形固定資産合計	15,220	15,126
無形固定資産		
のれん	438	335
その他	2,383	2,220
無形固定資産合計	2,821	2,556
投資その他の資産		
投資有価証券	3,849	5,045
その他	2,260	3,190
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	6,103	8,229
固定資産合計	24,144	25,911
資産合計	117,525	119,944

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,652	29,494
電子記録債務	2,899	4,832
短期借入金	894	973
未払法人税等	766	538
賞与引当金	541	290
その他	2,950	3,329
流動負債合計	36,706	39,459
固定負債		
役員退職慰労引当金	7	9
退職給付に係る負債	1,009	986
その他	1,894	1,962
固定負債合計	2,911	2,959
負債合計	39,617	42,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,045	10,045
資本剰余金	9,918	9,923
利益剰余金	54,527	53,489
自己株式	△1,907	△1,912
株主資本合計	72,584	71,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	1,298
繰延ヘッジ損益	△77	△213
土地再評価差額金	540	540
為替換算調整勘定	1,741	1,671
退職給付に係る調整累計額	△192	△175
その他の包括利益累計額合計	2,654	3,121
非支配株主持分	2,669	2,858
純資産合計	77,908	77,526
負債純資産合計	117,525	119,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
売上高	179,794	113,569
売上原価	163,597	97,960
売上総利益	16,196	15,609
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,719	1,632
給料手当及び賞与	4,105	4,364
賞与引当金繰入額	215	234
退職給付費用	248	283
その他	4,832	4,762
販売費及び一般管理費合計	11,120	11,277
営業利益	5,076	4,331
営業外収益		
受取利息	71	62
受取配当金	68	80
持分法による投資利益	54	128
その他	76	108
営業外収益合計	271	380
営業外費用		
支払利息	49	50
売上割引	46	47
為替差損	177	154
その他	137	49
営業外費用合計	412	301
経常利益	4,935	4,410
特別利益		
関係会社清算益	33	—
特別利益合計	33	—
特別損失		
公開買付関連費用	—	689
仲裁関連費用	—	264
減損損失	—	192
製品補償関連費用	—	60
関係会社清算損	—	20
固定資産除却損	11	—
特別損失合計	11	1,227
税金等調整前四半期純利益	4,957	3,183
法人税等	1,362	977
四半期純利益	3,594	2,205
非支配株主に帰属する四半期純利益	96	196
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,497	2,009

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	3,594	2,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	228	687
繰延ヘッジ損益	△277	△136
為替換算調整勘定	△3,350	△93
退職給付に係る調整額	5	17
持分法適用会社に対する持分相当額	11	12
その他の包括利益合計	△3,381	488
四半期包括利益	212	2,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192	2,477
非支配株主に係る四半期包括利益	20	216

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

クロダ マニュファクチャリング ベトナム CO., LTD. は、第2四半期連結会計期間において新規に設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用に関しては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	140,795	35,436	176,231	3,562	179,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,514	6,047	18,562	95	18,657
計	153,310	41,483	194,794	3,658	198,452
セグメント利益	3,303	1,588	4,892	35	4,927

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米及び欧州地域の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,892
「その他」の区分の利益	35
セグメント間取引消去	148
四半期連結損益計算書の営業利益	5,076

当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,830	39,645	110,475	3,094	113,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,741	4,194	13,935	92	14,028
計	80,571	43,840	124,411	3,186	127,598
セグメント利益又は損失(△)	2,806	1,440	4,246	△6	4,240

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米及び欧州地域の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,246
「その他」の区分の損失	△6
セグメント間取引消去	91
四半期連結損益計算書の営業利益	4,331

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アジア」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては192百万円であります。